

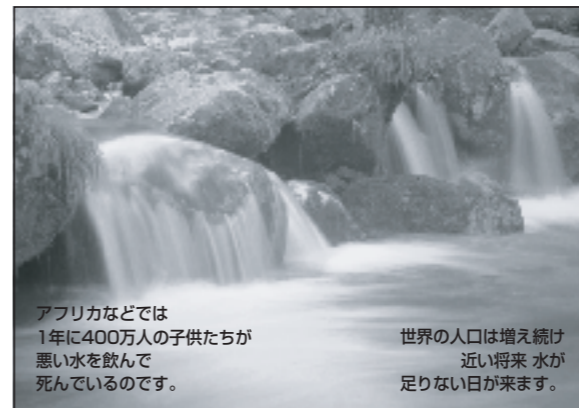
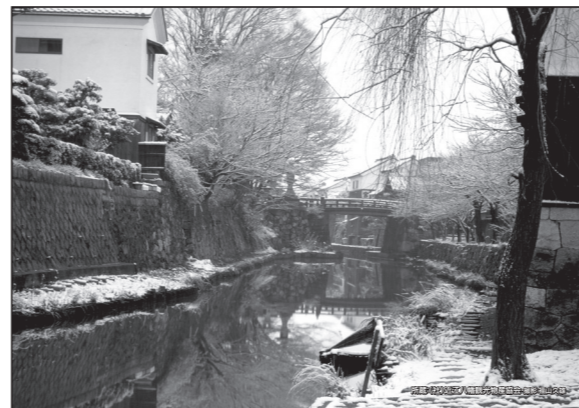
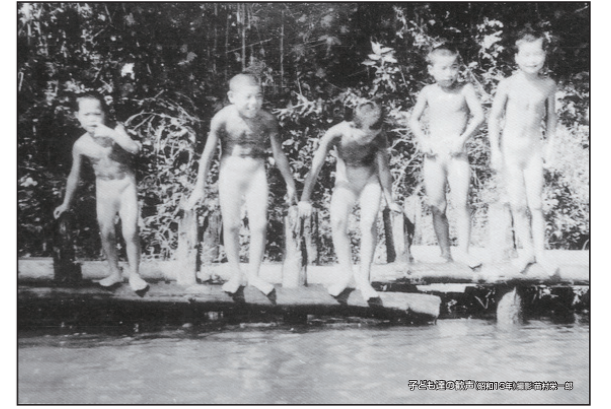
水に想う

八幡さんまし歴史めぐり

水は生命の源。八幡堀は、豊臣秀次公が開町してから約400年以上の間、紆余曲折ではありましたが、時代と共に歴史を刻んできました。市民運動によって再生されてからは、少しずつ蘇りました。次の世代へつなぐため歴史と共に顕彰したいという思いがあります。

私たちは
昔から水に親しみ
水の言葉を
こんなに持っています

八幡堀今昔物語



私たちは「水」に対して
どうすればいいのか
何をすればいいのか
今一度考えてみよう！

NPO法人秀次倶楽部
喜兵衛塾

これは、2001年に制作したパネルです。八幡堀は、豊臣秀次公が開町してから約400年以上の間、紆余曲折ではありましたが、時代と共に歴史を刻んできました。市民運動によって再生されてからは、少しずつ蘇りました。次の世代へつなぐため歴史と共に顕彰したいという思いがあります。

地球温暖化によって、20世紀(1901～2010年)の間に、海面は19cm上昇しました。今後、海水温の上昇による熱膨張と氷河などの融解によって、2100年までに最大82cm上昇すると予測されています。あわせて、日本ではここ最近、豪雨による被害も増えています。水問題はどこまで続くのでしょうか？